

# 大連から中小企業の明日を見据え、 平和の土台作りに貢献したい

弁護士 夏目 武志



下段左から大場真理子事務局長、夏目、中島宏治弁護士、劉同強律師、方愛珍事務局長、于虹律師、上段左から大場事務局長のご主人、山田修事務局長。

中国の大連に法律事務所を出しています。菅原哲朗（東京）・稲田堅太郎（大阪）・加藤洪太郎（名古屋）の3弁護士が2000年に開設し、日中両国の経済発展と平和の構築に貢献することを基本理念として

中国の大連に「海外進出」している結果が出ています。従来型の「海外進出」は低賃金を求めた工場の引越という図式ではなく、これからは、自社の独自技術を活かして自分達が貢献できる新たな市場を海外にも創り出す、「市場創造型」海外進出への挑戦が求められます。同時に国内では人育てに力を入れ、海外の人達ともあてにし、される関係を築き上げていく。そうした草の根的な取組の広がりがこそが、地域の平和を確かなものとしていくために欠かせない基盤となるのではないかと。そんなことをワクワクしながら考え、専門家としての支援をできるように頑張っています。

て両国弁護士の協力関係を築いてきました。現首席代表の中島宏治弁護士（大阪）の後任として、私が次期首席代表に就任することになり、現在、手続きや準備を進めています。毎月、大連・名古屋間を行き来していますが、飛行機で片道2時間なので、東京に出張する感覚と大差ありません。スカイプ、ライン、メール、IP電話等を駆使して、国内業務に支障のない形で新規業務への挑戦が可能となっています。

私がこのような新しい取組をしているのは、雇用の8割を担っている中小企業のクリエイティブな海外進出を支援したいという気持ちからです。企業の海外進出＝国内の空洞化と見る向きがありますが、中小企業庁の調査では、海外進出した企業の方がしていない企業より国内雇用を増加させ



下段左から中島宏治弁護士、馬艶社長、夏目、上段左から山田修事務局長、大場事務局長のご主人、大場真理子事務局長。

6月中旬には大場真理子事務局長が勤続10周年のリフレッシュ休暇を利用して、山田修事務局長と共に大連を訪問してくれました。大連事務所の方愛珍事務局長、中国人の劉同強、于虹律師との会食を行いました。また、大連豊安ビジネスコンサルタントの白雪さんに大連市内の観光案内をしていただき、社長との馬艶さんとも会食する機会を得て、楽しく、実り多き時間となりました。